

議会報告会 実施報告書

実施日時	平成25年11月20日（水）19:00～20:40				
会場	南 公民館	来場者数	15人		
担当班	B	林正男、北條正、美尾谷幸雄、山崎法子、前川和治、力野豊			
		司会進行	力野 豊	受付	林 正男
		報 告 説 明	(総務) 山崎法子	(産経) 前川和治	
			(文教) 美尾谷幸雄	(駅前) 北條 正	
		パワーポイント	北條 正、前川和治		

1. 質疑応答及び意見

(1) 総務民生常任委員会の報告

Q1：マンホールトイレの整備予算のこれまでの総額と職員給与削減の総額は？

A1：マンホールトイレは過去3年間で、約1500万円強、職員給与は約6000万円。

Q2：給与削減で捻出したお金はどのように使われたのか？

A2：災害への対応や、経済対策など今後活用される。

(2) 産経建設常任委員会の報告

特になし

(3) 文教厚生常任委員会の報告

Q1：障害者の方たちは個々に状態が違うのだから一律に考えないでその人の状態に合わせて考えるべきではないのか？

A1：1級から4級の中では、障害の程度が比較的軽い4級の方に対する医療費補助でその障害に起因する医療費については、今までどおり全額補助されている。

Q2：沢山の事業案件の中からこの議案を報告する事になった経緯は？

A2：各常任委員会でどの議案について報告するか検討する中、市民にとって身近で興味を持って頂けるであろう、議案について報告する事とした。

(4) 敦賀駅前整備についてのご意見

意見：空いているからと言って急いで物を作る必要はない。駐車場などで利用しながら、しっかり議論すべき。

意見：タクシーやバスに乗るのにそこまでの通路や、待機場所の屋根が無いなど利用客に不親切だ、観光客にもマイナスイメージになる。

意見：工事の囲み壁に完成イメージや工期を書くなど市民や観光客に周知する必要がある。

意見：広場の今後の利用については、原子力の今後の情勢など考え、性急に決めずに慎重に対応すべき、工事中の壁にもっと判りやすい案内を表示すべき。

意見：交流施設が完成すれば、バリケードなどの撤去が出来、タクシーやバス乗り場まで少しでも利用しやすく改良すべき。

(5) 市民からの市議会、市政へのご意見

Q1：博物館通りの事業についてどのような状況か、特に敦賀酒造の件について進んでいるのか？

A1：中心市街地活性化事業については、現在も進行中であり、事業の中でも敦賀酒造の件は、確かに停滞しているが理事者側は、粘り強く交渉している。

意見：敦賀の唯一の作り酒屋である敦賀酒造を残して頂くような交渉して戴きたい。

意見：木の芽川について台風18号の状況を見ていると危険な状態だった、改修を進めてほしい。

→木の芽川の改修要望について議長に報告します。

Q2：山泉地区には、下水道は整備されないのか？

A2：市の公共下水道事業計画には、入っているが国への事業認可申請は、出されていない、現在整備中の認可区域の整備がもう少し進まないで認可申請を国へ出せないと理事者から聞いている。

Q 3 : 原発事故時の避難先が奈良県に決まったと聞くがどのように避難させるつもりか？

A 3 : 避難先については県が防災計画を立てている、具体策については、もう少し時間が掛かるようである。

Q 4 : 布田町の市道がガード下に水が溜まり通行できなかった、避難所へのルートが大変な状況の中、東洋紡と協定など結んで対応できないか？

A 4 : 議長を通じて行政側に伝えます。

Q 5 : 敦賀市の状況は厳しい状況が続いている、あらゆる案件に対処するため保守一本化出来ないか？

A 5 : 意見として報告書に記載させていただきます。

Q 6 : 原子力政策について、もっと強く地元議会として意見を出していくべきではないか？

A 6 : 意見として報告書に記載させていただきます。

意見 : この報告会に議員の方に「商店街の活性化について」と「原子力の小型化開発について」の資料を配らせて頂きます。

意見 : 報告会の形として決まった事を聞いてもしょうがない、議員と意見交換できるような場所にしてほしい。

敦賀市議会議長 常岡 大三郎 殿

平成 25 年 12 月 26 日

敦賀市議会報告会実施要綱第 10 条第 1 項の規定により提出します。

代表者 B 班 力 野 豊